

令和2年度  
浜松市  
第68回  
市展

開催期間 令和3年2月2日(火)ー2月12日(金)  
〔2月8日(月)休館〕  
開館時間 午前9時30分ー午後5時  
(ただし、最終日2月12日は午後3時まで)  
会場 浜松市美術館

主催：浜松市

応募数及び入賞入選数

(単位:点)

部門 作品数	絵画	彫刻	書	工芸	写真	計
応募数	199	6	23	19	68	315
入賞入選数	124	5	18	11	43	201

運営委員長 瀧口 裕章(浜松市美術館協議会会長)

審査員

絵画 栗原 幸彦(日本画家)  
彫刻・工芸 御宿 至(彫刻家)  
書 広瀬 舟雲(武蔵野大学教育学部教授)  
写真 若木 信吾(写真家)

ごあいさつ

運営委員長 瀧口 裕章

新型コロナウィルス感染拡大で首都圏並びに関西圏、愛知県岐阜県等に緊急事態宣言が出される中、公私ともにご多用の中、感染に留意されながら浜松市美術館まで足をお運びいただきました皆様、ご来館誠にありがとうございます。

本年度(第68回)市展に応募されました16歳から89歳までの315名の皆様方それぞれの創作活動への熱い思いに対し敬意と感謝を申し上げます。

このようなコロナ禍で感性を磨かれ、外出自粛が言われる中で制作に没頭し、自分の思いを表現される努力は並大抵なことではないと思われます。

今回の応募作品につきましては、彫刻部門の応募が少ないなか、全体の点数は昨年よりも50点増えスタッフ一同喜びに堪えません。

さて、作品の傾向を見ますと絵画・彫刻部門を中心に高校生と60歳以上の方の応募が多く、アートに挑戦する素直な心を感じたところでございました。

入賞・入選は全体で28点・201点であり、5部門からそれぞれ大賞を1点選び、その中から市長大賞を選んでいただきました。その結果、今年度は書部門の作品『色彩の呼応』(名倉栄梨さん作)が市長大賞に選ばれました。自作の言葉を文字の黒と余白でのびやかに表現されていると審査員から高評価を得ました。

東京オリンピックと同時に開催予定であった文化芸術活動も延期されて、飽くなき創作活動がコロナ克服へと繋げられ、市民が芸術に触れ、浜松市全体の文化活動向上に、今後もこの芸術祭が寄与しさらに発展することを願いごあいさつと致します。

審査評

絵画

栗原 幸彦

この一年新型コロナ禍で、今回の市展はかなり応募点数が減少するのではと心配していたのですが、思いの外応募点数が多く、選外作品をたくさん出さなくてはならなくなり、一生懸命描いていただいたのに申し訳なく思っています。具象作品、特に風景画で気になったのは多くの作品が写真を元にしているとわかつてしまう事です。下手でも現場でスケッチもししくは本画を描いていればもっとリアルで臨場感のある絵に仕上がったはずです。今回は高校生の作品が多く見られましたが、まだ絵作りが未熟で気負いが先立っていて、もっと素直な作品作りから始められたほうが良いと思います。

絵画部門を全体的に見て、その他のジャンルに応募してくれた作品が高レベルだと思いました。

コロナがいつ終息するかわかりませんが、絵画は案の中で描く事ができます。次回もよい作品を応募してくれる事を期待しています。

彫刻

今回の彫刻部門は、応募数6点ということで少し残念なことでしたが、入選とさせて頂いた5作品は、甲乙をつけがたく入賞を決めさせていただくに大変迷いました。

三作品、村井さんの「可愛いブタさん」、高さんの「まんまる」、須藤さん「キミのこと知りたいな」は、身近に触れることが出来る動物をテーマに制作していて、それぞれの生き物に注ぐ眼差しの温かさが通底していて好感を持ちました。高さんは、リスのフォルムを優しい曲線で表現し、須藤さんは、「犬」と「ぬいぐるみの犬」が対に配置されている作品とともに佳作と思いました。村井さんの作品は、モデルとした動物へのやさしさの目線を伴った観察力を評価し入賞としました。杉村さん、水野さんの作品も佳い作品と思いましたが、二作品の表現方法としては、もう少しメリハリがあったらと思いました。

しかし、私たちが「コロナ禍」のなかだからこそ、一生懸命創造し、その過程でもう一度自身の心の、そして自然の声に耳を傾けてみることは大変意義のあることかもしれません。次回の作品楽しみにしております。

書

本展の全応募作品を拝見すると、いろいろな分野の作品が集まり、しかも技術力の高度な作品が多いということが第一印象であった。その中でも大賞の名倉さんの作品は、線の明るさが特にきらめき余白に詩情が満ちた力作。作品から溢れ出る若々しいすがすがしさが魅力的であった。土屋さんの作品は、長年鍛錬した連綿草の集大成とでもいべき作で線が心地よく定着。大石さんの作品は勁い細線を駆使し泰然と歩む仮名で行間の白が冴える。ほかに篆書の大字や行草の横作品に優秀なものが見られた。

総評として、にじんだ時の墨色に気配りしていただくとよりよくなるものや畳字の書き方に意を払ってほしいと思う作品が見られた。また、正しい草書の字形を学んだ上で、デフォルメしてほしいと思った。技術があり、全体の構成がしっかりとしていていいと思っても近寄って細部を見ると筆先の動きや字形が今一歩のものがいくつかあり、とてもおしいと感じた。書作品の制作は技術的な鍛錬だけでは深いものは生まれない。常に古典の字習を深めた上で新しいものを創造していただきたい。

工芸

今回は、応募数19点で11点を入選しました。工芸部門の審査でいつも感じるのは、素材が多岐に渡ることからくる難しさです。この11作品からさらに、入賞作品2点を選出するのは大変でした。それ程、其々の作品の佳さが拮抗していました。

入賞の二作品、斎藤さんの「Darwin Fish～海洋プラスチックごみを食べる深海魚～」と、小野田さんの「Whale Watching」は、創作の重要な要素の一つである素材に対する創意と工夫が感じられ、作者の息づかと情熱をより強く受け取りました。さらに世界の環境問題をテーマにユーモラスに表現した「Darwin Fish」を大賞としました。馬渕さんの「子牛とひつじ」は、秀作と思いましたが、作品の見せ方(展示の方法)にあとひと工夫欲しかったと思いました。鈴木さんの「池のほとり」は、優雅なフォルムと品のよい碧色が心に残りました。他に、石井さん、佐々木さん、横井さん、石野さんの作品も佳い作品と感じました。皆さんが「コロナ禍」のか一生懸命制作されたことに敬意を払います。次回の作品楽しみにしております。

写真

若木 信吾

大賞に選ばれた竹内さんの「こうじょう」は工場という意味なのでしょうか。そのそつないタイトルが背景をさりげなく際立たせていて、壁にかけられた工具など、画面のいろんな部分にも意味をもたせ、この人は誰、どうしてという興味がどんどん湧いてきました。そしてそれを凌駕するように、宙返りをする被写体の躍動感や手足の浮き出た筋肉の美しさがそこありました。写真の特徴である、現実の瞬間に切り取るというだけのシンプルな行為だけで、生きている素晴らしさがストレートに表現されていたと思います。

「熱演」の生き生きとした集団の表情や「散歩仲間」がみせてくれる優しい気持ちと出会う瞬間、「怪鳥」の普段見せない自然の荒々しさに遭遇した驚き、「合唱の窓」の遠くから見てもひきつけられる家族の温かな表情など、今回入選された写真を見ると、コロナ禍の自己規制の生活が続く中、こういう瞬間に早くも懐かしさを感じてしまうほどでした。写真はとても手軽なメディアですが、こういう機微の変化がふと表面化した瞬間を掴む能力に長けていると思います。

市展の写真是撮影者の意図に関わらず「浜松」の特徴が写し出されています。それぞれの生活の中で大事にしていることや、当たり前すぎて忘れてしまっているようなことを改めて写真に撮ってみてはいかがでしょうか。

No.	賞	作品名	作者氏名	No.	賞	作品名	作者氏名	No.	賞	作品名	作者氏名	No.	賞	作品名	作者氏名
絵画(油彩画)				1				70				8			
2		スマートフォンを覗く水辺の風景	子代宏也	71		Sun shower	子子代彦	9		浜松市長大賞	色	8		呼街	応道色に花蕩首歌鐘霊は
3		みんなの気持ちでできた夜	寿修男子	72		ト ラムの走る町	子子代彦	9			ア	9			三砂生き
4		大福寺・仁王門	玄章乃郎	73		孤	子子代彦	10			ビ	10			榮耕惠淑
5		水辺の風景一東神田	美義正	74	奨励賞	愁り	子子代彦	11			ア	11			悦雅
6		遍路	正素	75		炎天の路溝に咲く花	子子代彦	12			心	12			恵賢美流
7		夕映え	啓節	76		野跡西のシズ	子子代彦	13			ん	13			美ゆ
8		美しき夜	規優	77		菊縁ム達い中	子子代彦	14			かは	14			生
9		秋洗心	盛晴	78		ナ若太陽がいづば	子子代彦	15			駕	15			三砂生き
10		清風	保香	79		散歩の途	子子代彦	16			四望	16			榮耕惠淑
11		田代	公麻	80		「日常」はきつと戻る～職場体験～	子子代彦	17			やなせたかしの希望の	17			悦雅
12		静頭発C	和克	81		p a s s e s b y …	子子代彦	18			長崎の初	18			恵賢美流
13		初日を浴びて	裕	82	大賞	シャコ貝に浮くハイビスカス	子子代彦				安臨さ				美ゆ
14		木漏れ日	和	83		仕事開始	子子代彦				安び				生
15		を誘われ	正と裕	84		ウサギフク	子子代彦				し				流み
16		湾を望む	彩	85		翼	子子代彦				さ				み
17		紅マリーナ・ベイの宝石	旅仙	86		古母の口	子子代彦				し				み
18		の思い	巖	87		ア挑白祭りだに	子子代彦				さ				み
19		黄金色の模	青馬山	88	奨励賞	母の温工	子子代彦				れ				み
20		レースス	山柳	89		昼ワッショイ	子子代彦				名				み
21	奨励賞	C5	渾本	90		我共が家のガーデ	子子代彦				GO!!				み
22		ue	木木	91		深花	子子代彦				今年も幸運を運びます				み
23		eb	木村	92		鶴	子子代彦				朝の遠州大橋				み
24		uのま	谷下	93		夜の咲く	子子代彦				瞳				み
25	奨励賞	月の渡	内内	94		D R Y F L O W E R	子子代彦				作				み
26		満過ぎゆく夏の想い出	晶洋	95		も新緑	子子代彦				よ				み
27		幻の富士山(65年前)	寿幸	96		蛙の夜	子子代彦				星				み
28		走れC10	品洋	97	奨励賞	雨に咲く	子子代彦				て				み
29		アマルフィーの街角	和廣	98		DRY FLOWE R	子子代彦				伐				み
30		禁断の果実	獅優	99		も新緑	子子代彦				怪				み
31		どんぐりコロコロ	英五	100		の咲く	子子代彦				馬				み
32		兆	理健	101		IC	子子代彦				魅				み
33		マント湖畔	智和	102		さ	子子代彦				夕				み
34		道連	通	103	奨奨	疫病退散	子子代彦				奥				み
35		S m i l e	井池	104		IC	子子代彦				親				み
36		遠望	武古	105		さ	子子代彦				威				み
37		樹園の下	小加	106	奨励賞	ICap t a i	子子代彦				遠				み
38		熱果見	藤中	107		さ	子子代彦				州				み
39		遙かなる大聖堂	粟長	108		疫病退散	子子代彦				な				み
40		夢見待	青米	109	奨励賞	降龍と鳳凰	子子代彦				な				み
41		猫寺	小仲	110		手を合わせずにはいられない	子子代彦				州				み
42		懐か口	古成	111		ありがと	子子代彦				な				み
43	奨奨	最後の後	田	112		が覗	子子代彦				祭				み
44		階から見た	守	113		構成(コンポディション)	子子代彦				刈				み
45		見た風景	水	114		開の調常物	子子代彦				ソ				み
46		外表会	室	115		の植和樹	子子代彦				シ				み
47		安曇野水車	金鶴	116	奨励賞	春日個性	子子代彦				ア				み
48	奨励賞	水車小屋	中ロナルド	117		個性(バイソン)	子子代彦				バ				み
49		シュテファン大聖堂	ローリング	118		和樹	子子代彦				合				み
50		瑞雲奥浜名	平戸	119		幸せなひ	子子代彦				火				み
51		無	中口	120		日の花	子子代彦				風				み
52		外表会	守	121		夕暮れと蒸気機関の世界	子子代彦				湖				み
53		発根上り松今・昔・未来	木川田津木崎	122		十ニ神将(辰さ)	子子代彦				砂				み
54		凜秋・成澤の滝	木崎本本嶋	123	奨励賞	愛いん	子子代彦				丘				み
55		大寝釣迦物(タイ・パンコク)	木崎本本嶋	124		可まミのこと	子子代彦				れ				み
56		独りの夜も…	木崎本本嶋			知りたいな届	子子代彦				風				み
57		メダルを競う若者達の記憶V	木崎本本嶋			不	子子代彦				川				み
58		帰オーラ!そろそろ行くぞの花	木崎本本嶋				子子代彦				ア				み
59		再街	木崎本本嶋				子子代彦				ク				み
60		街ははず	木崎本本嶋				子子代彦				ロ				み
61		上高地岳沢湿	木崎本本嶋				子子代彦				バ				み
62		それでも花は咲く	木崎本本嶋				子子代彦				ツ				み
63							子子代彦				コウノトリ				み
64							子子代彦				佐鳴湖に、ようこそ				み
65							子子代彦				河津に、ようこそ				み
66							子子代彦				ほっこりあたたかうとよ。				み
67	奨励賞						子子代彦				お花見に来たかうとよ。				み
68							子子代彦				ぼくもお花見に来たかうとよ。				み
69							子子代彦				来たかうとよ。				み